

議題（４） 一色地区コミュニティバス運行計画（案）について

1 概要

- ・西尾市地域公共交通計画に基づき、地区が主体となって検討を行う地域内公共交通。
【西尾市地域公共交通計画 事業②-3、事業③-2】
- ・地区からの提案に基づき、西尾市地域公共交通活性化協議会にて運行内容を決定する。

2 地区公共交通協議会での協議経過

H26 年度	第1回(12/22)	希望のあった中部小校区・南部小校区の町内会長等が委員となり、協議会を設立、役員を選出を行った。
	第2回(2/2)	普段公共交通に対して感じていることについて意見を出し合い、人口等のデータから地区の現状を分析しつつ、地区に必要な公共交通について協議を行っていくこととした。
H27 年度	第1回(5/18)	毎月協議会を開催し、年度内に一色地区でのバス路線新設案を決定することとした。委員の変更に伴い、役員を選出を行った。
	第2回(6/22)	需要調査についてはアンケートを行わず、各委員が地元町内会から意見を吸い上げることとした。 協議会不参加の東部小校区・西部小校区の地域も含めた一色地区全体を運行する案を検討することとした。
	第3回(7/21)	東部小校区・西部小校区の町内会長がオブザーバーとして参加。 利用者がわかりやすいよう1時間に1便のダイヤで回れる運行ルートを目安に、試走を繰り返し決定していくこととした。
	第4回(8/24)	東部小校区・西部小校区が新たに委員として参加。 8/9に委員で六万石くるりんバスへの試乗会を行い、感じたことについて話し合いを行った。
	第5回(9/24)	白地図への書き込みや乗用車での試走を繰り返し、運行ルートについての協議を行った。
	第6回(10/27)	
	第7回(11/24)	運行ルートについて協議会案を決定し、バス停留所設置箇所についても概ね候補地を決定した。
	第8回(12/22)	協議会案について試走結果を報告。運行ルートについて最終決定とし、運賃等その他条件は、現行の六万石くるりんバスと同様とした。 協議会については今後も存続し、利用促進等を行うこととした。
第9回(1/19)	H28年度以降の委員は、現委員の各地区の次期町内会長とした。 5月頃に会長が協議会を招集し、新委員での会議を行うこととした。	
H28・ H29 年度	第1回(6/29)	新委員により、運行ルートの微調整や目標の設定、目標を達成するための利用促進策についての協議を行った。
	第2回(11/7)	
	第3回(3/17)	
	第1回(6/12)	

3 運行目的

①交通不便地域の解消

東部地区や西部地区を中心とした交通不便地域における高齢者等の移動手手段の確保。

②地域内での交流促進

医療機関や買い物、一色町公民館やさかな広場等の施設など地域内の移動手手段を確保し、交流促進・地域活性化を図る。

③広域的路線への接続

公共施設再配置事業による支所機能移転先である一色町公民館を乗継拠点とすることで、幹線交通であるふれんどバス・路線バス一色線へ接続し、市街地や隣接市等への広域的な移動を可能とする。

4 公共交通ネットワークにおける位置づけ

幹線	鉄道、路線バス（岡崎・西尾線、一色線）、ふれんどバス、渡船
準幹線	路線バス（寺津線、平坂中畑線）、六万石くるりんバス、一色地区新規バス路線
支線	いこまいかー、タクシー

幹線…市外や市内地域間の移動を担う基幹的公共交通。交通事業者、市が主体となり、市民と協力して運行を確保する。

準幹線…幹線への接続及び地域内の移動を担う公共交通。地域が主体となって計画し、地域と市との協働により運行を確保する。

5 実施主体

西尾市

6 運行主体

東伸運輸株式会社

（プロポーザル方式により選定）

7 運行方式

路線定期運行

8 愛称・車両デザイン

一色地区内で募集を行い、地区公共交通協議会委員により決定する。

9 運行ルート・停留所設置箇所

以下の方針を基本に別紙1「運行ルート・停留所設置箇所案」のとおり決定した。

- ・利用者が使いやすいよう1時間に1便のダイヤで運行できるルート
- ・バス車両の安全通行のため、原則センターラインのある道路を運行
- ・上記2点の方針に沿って、一色地区内をくまなく回るルート

10 運行日・運行本数・運行ダイヤ

- ・運行日：年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日運行。
- ・運行本数：1日10便。
- ・運行ダイヤ：別紙2「運行ダイヤ案」のとおり。

11 運賃

- ・1乗車100円。
- ・小学生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害保健福祉手帳所持者は無料。
- ・回数券15枚綴1,000円。
- ・75歳以上の運転免許証自主返納者（返納から最長3年間）。

12 車両

36人乗り小型バス車両（バリアフリー対応ノンステップ車両）

日野自動車 ポンチョロング2ドア（東伸運輸株所有車両）



13 運行経費予測

年間1,700万円程度

（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金申請予定）

14 地区による利用者数目標

1便5人以上（年間約18,000人）

15 地区による利用促進策

- ・町内会の会合やお祭り等のイベントでの周知、アンケートの実施
- ・沿線の買い物、病院、公共施設等を掲載した移動目的に合わせたマップの作成
- ・バスを利用したウォーキング等のイベント実施
- ・沿線店舗等との協力（バス来店者の割引サービス、広告事業等）
- ・地域による高齢者への試乗機会の提供 等

16 周知の方法

- ・市広報への掲載、パンフレットの各戸配布
- ・高齢者等の会合へ出向いてのPR
- ・運行事業者との連携により、実車を用いた乗り方教室の実施

17 評価の方法

- ・一色地区公共交通協議会においてP D C Aサイクルを実施する。
- ・定期的に協議会を開催し、利用促進策の実施や利用状況等の把握を行う。
- ・毎年利用状況の評価・分析・改善案の検討を行い、西尾市地域公共交通活性化協議会へ報告する。
- ・西尾市地域公共交通活性化協議会では報告を受けて助言・承認等を行う。

18 運行開始予定日

平成29年10月1日（日）

19 今後のスケジュール

- 6月～7月 愛称、車両デザインの募集
公安委員会等との事前協議
西尾市地域公共交通活性化協議会での承認
生活交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統補助金）の申請
運行事業者による愛知運輸支局への申請
- 7月～9月 運行準備、説明会等による周知

